

本校の教育活動について

今月の目標

生活 あとかたづけ・準備をきちんとしてよう

給食 食事のあいさつをきちんとしてよう

保健 寒さに負けない体をつくろう

清掃 清掃用具の手入れをしよう

学びを広げ深めていく

4年生担任 北島 妃抄子

4年生は、9月9日（月）に社会科見学に行ってきました。本所防災館を訪れ、「つかまるものがない部屋で震度6の体験」「床上10センチメートル浸水でドアを押し開ける体験」「火災煙体験」「レインコートを着ての暴風雨体験」などをしました。

2学期の社会科では「自然災害から人々を守る」の単元で学習する時期も重なり、教科書だけでは得られないことを体験し、学びや考えが広がりました。東京マイ・タイムラインも使って学習を進めていき深い学びができるようにしていきます。マイ・タイムラインを作成したら持ち帰りますのでご家庭でも話題にさせていただけたら幸いです。

図画工作科より

5・6年図画工作専科 今井 健太郎

日頃より図画工作科の授業に、ご理解ご協力ありがとうございます。近年では様々な事情により、ご家庭で絵の具を使ったり、絵を描いたりする機会が減っております。のびのびと作品をつくる場所と時間を、学校の中でしっかりと確保していきます。

また高学年の授業では、絵を描いたり、資料を集めたりするのにタブレットを使用する機会が増えてきました。教科書の中にも情報機器を活用した作品例も掲載されています。手で作る部分と、情報機器を操作する部分を使い分けできるように気を付けて授業を進めてまいります。

音楽科より

5・6年生音楽専科 奥村 優美

日頃より音楽科の授業にご理解ご協力いただきありがとうございます。音楽科では、基礎的な技能の習得だけでなく、豊かな情操を育むこともねらいとしています。様々な音楽活動を通して表現することの楽しさを味わってほしいと考えています。

高学年では、「協働して音楽活動をする」ことを重視して授業をしています。友達と関わり合って歌ったり演奏したりすることで、互いのよさに気づき、認め合えるようになってほしいと願っています。今年度は音楽会も開催されます。児童の頑張りをぜひ聴きにきていただけると幸いです。

地域の方の教育力～ちょっと「お節介」な「ろうるさい」大人の存在～

生活指導主任 櫻木 泰自

私は江戸時代から「下町」と言われる地域に生まれ、今も暮らしています。そこには「ご近所の名物おじさん・おばさん」が代々いました。縁台に腰掛けては、「今日は帰りが早いね！」なんて声を掛けたり、「そこでボール遊びをしたら植木が痛む」などと、子供たちに注意をしたりしてくれました。その存在は「見守り」であり、「子供への地域の教育力」でした。今の私は、最寄り駅から徒歩で帰宅中の公園で、お菓子の空き袋等を散らかしたままの子がいれば、やんわりとかつ毅然として拾うように声を掛けます。「あとでしようと思う」と返されれば、「風で飛んだら面倒だよ。今しよう。」と促して、行動が見られるまでその場にいます。決して「学校」という言葉は発しません。地域の「おじさん」としての行動です。家庭・学校・地域、三者の教育がそれぞれ機能し、連携し合っこそ、より効果のある教育になると考えています。

